MSD42－60007/ 8
ルーフスポイラーウィングレット付き

取付・取扱要領書

この度は MODELLISTA ルーフスポイラーウィングレット付きをお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
本書は本商品の取り付け、取り扱いについての要領と注意事項を記載してあります。
取り付け前に必ずお読みいただき、正しい取り付け、取り扱いを実施してください。

本商品は登録後架装を前提としています。

■品番・適合車種

品番	塗装色	適合車種	備考
MSD42-60007-A3	プラチナホワイトパールマイカ（089）	ランドクルーザー 300	
MSD42-60007-C2	ニュートラルブラック（229）		
MSD42-60008-NP	未塗装品		

・最新の適合情報は MODELLISTA カタログサイトをご覧下さい。https://www.modellista.co.jp/

■構成部品

No.	部品名	数量	品番	備考
①	ルーフスポイラー	1		ABS
②	ホースプロテクター	1		45×45mm
③	ベースブラケット RH	1		
④	ベースブラケット LH	1		
⑤	ブラケット RH	1		
⑥	ブラケット LH	1		
⑦	樹脂カバー RH	1		ASA
⑧	樹脂カバー LH	1		ASA
⑨	ホールカバー RH	1		ASA
⑩	ホールカバー LH	1		ASA
⑪	ワッシャー付ボルト	2		M5
⑫	フランジボルト	2		M6
⑬	クリップ	2		
⑭	型紙シール	1		
⑮	PAC プライマー N-210	1	08867-00250	N-210-NT

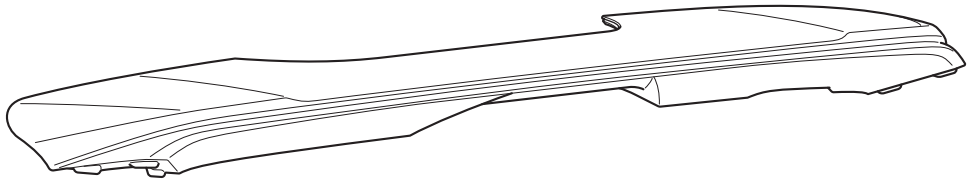
以下、MSD42-60008-NP（未塗装品セット）のみに同梱

No.	部品名	数量	品番	備考
⑯	プロテクター	3		L=130mm
⑰	プロテクター	6		L=90mm
⑱	プロテクター	1		L=320mm
⑲	プロテクター	2		L=90mm,W=15mm

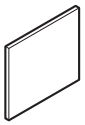
※開梱時に本体破損がないこと、付属品が全てそろっていることを確認してください。

■構成部品図

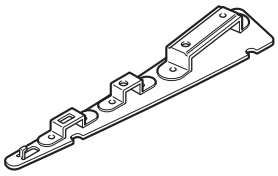
①



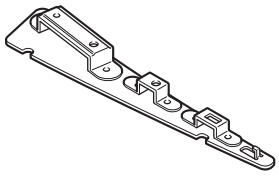
②



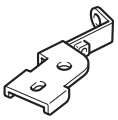
③



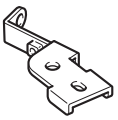
④



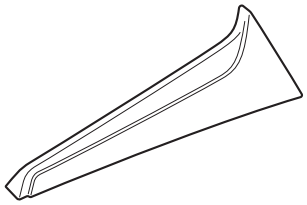
⑤



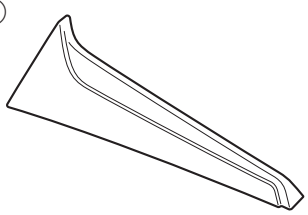
⑥



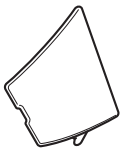
⑦



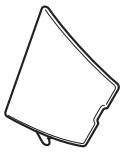
⑧



⑨



⑩



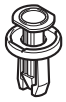
⑪



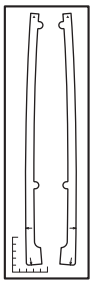
⑫



⑬



⑭

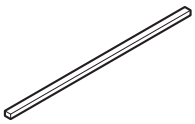


⑮



以下、MSD42-60008-NP(未塗装品セット)のみに同梱

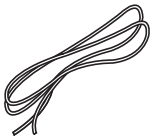
⑯



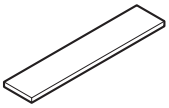
⑰



⑱



⑲



■リペアパーツセット（補給）

品番	備考
MSD80-60H38	③④⑤⑥⑨⑩⑫⑭⑮のセット同梱
MSD80-60H41	②③⑤⑦⑨⑪⑫⑬⑭⑮のセット同梱
MSD80-60H42	②④⑥⑧⑩⑪⑫⑬⑭⑮のセット同梱

※本品は補給専用のため、MSD42-60007/8には付属しておりません。

取り付け上のご注意（取り付け作業者の方へ）

作業を行なう前に必ずお読みになり、安全で確実な取り付け作業を行ってください。

⚠ 警告	この内容に従わず、誤った取り付け・取り扱いを行うと生命の危険または、重傷等を負う可能性がある内容について記載しています。
⚠ 注意	注意事項を守らないで、誤った取り付け・取り扱いを行うと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがある事を記載しています。
アドバイス	スピーディに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

⃠ やってはいけないこと　　❗ 必ず行っていただくこと

⚠警告

⃠ 本商品への改造・加工、及び適合車種以外への装着は、重大な事故を招くおそれがありますので絶対に行わないでください。

❗ 本商品の取り付け・交換は、該当車両の修理書（トヨタ自動車㈱発行）に従い、本書の注意事項を守り作業を行ってください。

❗ 取り付け作業は規定トルクを守り、確実に締め付けてください。締め付けが足らないと脱落などにより重大な事故や故障を招くおそれがあります。

⚠注意

❗ 本商品を取り付け前に、本体・構成部品がすべて揃っていること、損傷や不具合がないことを確認してください。取り付け後に発覚した損傷や不具合のクレームには、対応できない場合があります。

❗ 本商品の取り付けは、キズ付き防止のため保護シートの上で取り扱いを行ない、同時に取り付け部位を保護材にて養生した上で作業を行ってください。取り付け作業時のキズ付きや破損に十分に注意してください。

❗ 特に指示のない限り、取り外した車両部品は再使用しますので紛失しないよう整理してください。

脱脂作業について（別紙の脱脂作業要領も参考にしてください。）

❗ 脱脂作業を行う際は、清潔なウエスを使用して、イソプロピルアルコール（IPA）で行ってください。
上記以外の溶剤は絶対に使用しないでください。

❗ 脱脂作業にボディーコーティング等の下地処理剤や、パーツクリーナー、ブレーキクリーナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。正しく脱脂が出来ず浮き、剥がれの原因となります。

両面テープについて

❗ 脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれます。

❗ 両面テープは一度貼り付けてから剥がしますと、接着力は低下しますので再貼り付けはできません。

❗ 外気温が15℃未満の場合は両面テープの接着力が著しく低下します。
部品または貼り付け面を人肌程度まで加温してください。

❗ 両面テープの圧着はテープの真上を49N(5kgf)以上（車両が軽く揺れる程度）で確実に押してください。
圧着が足らないと両面テープが剥がれる恐れがあります。

❗ 接着力を促進するため、取り付け後20分以内は洗車しないでください。

取り付けが終わったら

❗ 取り付け後、本商品と車両との干渉が無いことを確認してください。

❗ 作業時にバッテリーのマイナス端子を外した場合は、作業終了後にシステム設定・確認を行ってください。

❗ 本取り付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。
該当車両の修理書（トヨタ自動車㈱発行）に従い、各部の点検・調整・設定を行ってください。

未塗装品の塗装作業について

❗ 本商品は塗装前に下地処理が必要です。

❗ 乾燥させる際は製品の変形の無いよう固定してください。又、乾燥温度が高いと変形やひび割れを起こしますので60℃以下で乾燥させてください。

■目次

品番・適合車種 …… 1
構成部品 …… 1
構成部品図・リペアパーツセット（補給） …… 2
取り付け上のご注意（取り付け作業者の方へ） …… 3
取り付けに必要な工具・保護具・消耗品 …… 4
保証について …… 4
取り付け構成図 …… 4
取り付け準備・取り付け要領 …… 5
取り付け完了後の点検・注意事項 …… 11
未塗装品の取り扱いについて …… 12

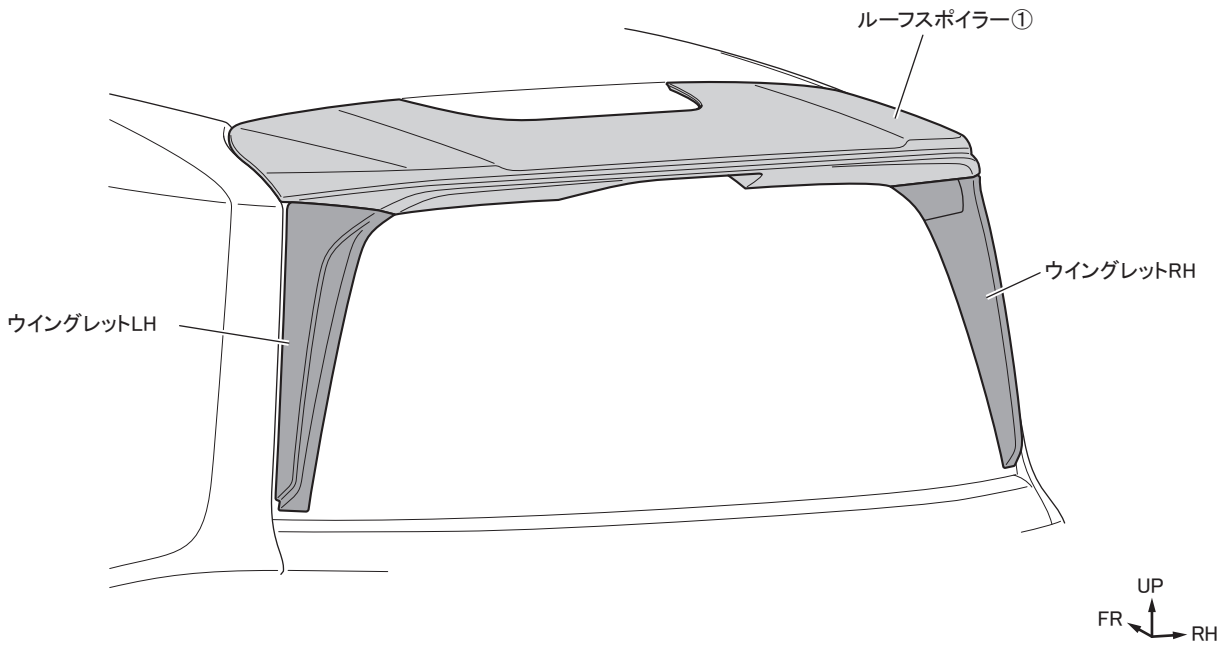
■取り付けに必要な工具・保護具・消耗品

・一般工具・トルクレンチ
・軍手・保護シート・保護テープ・マスキングテープ・養生テープ
・ハリガネ等（ウォッシャーホース通線用）
・イソプロピルアルコール（IPA）・清潔なウエスなど

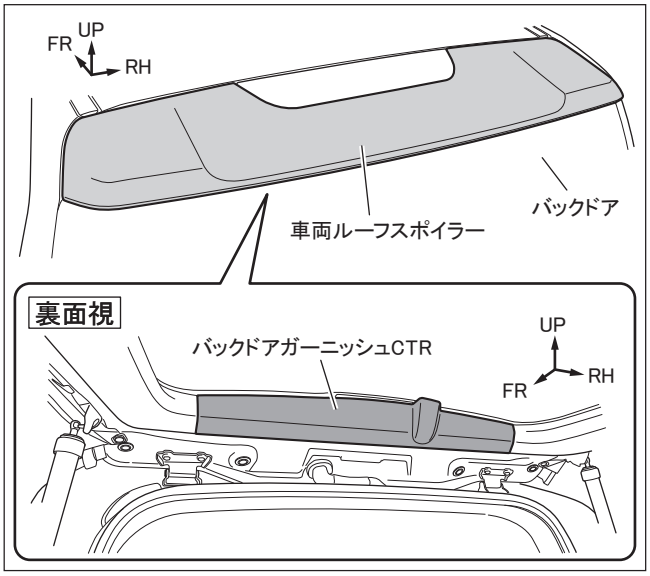
■保証について

本商品は、1年・20,000 Km の保証を実施いたします。
（1年または20,000 Km 走行時点のいずれか早い方まで）
※保証の詳細は MODELLISTA パーツカタログサイト〈https://www.modellista.co.jp/〉
「保証について」をご覧ください。

■取付構成図

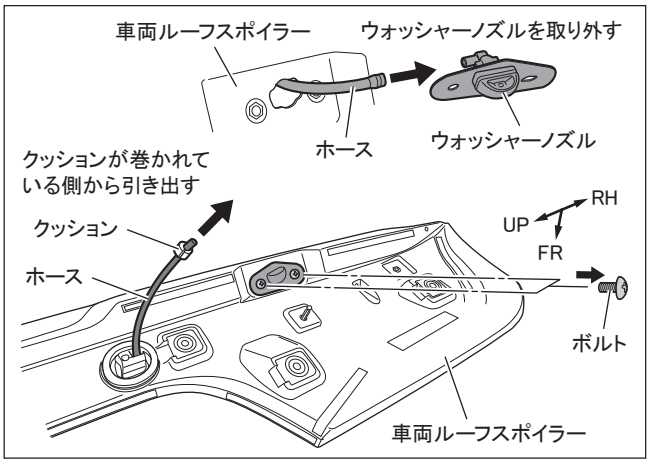


■取付準備、取付要領
□ルーフスポイラーの取り付け準備



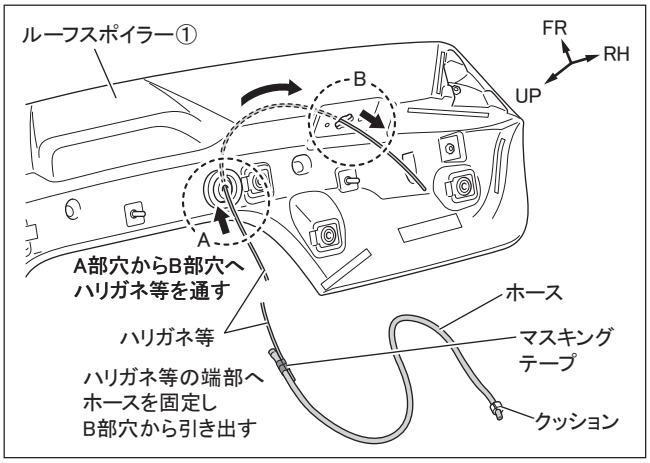
1. バックドアを開け、作業中に誤ってバックドアのロックが掛からないように、ロックストライカー部に布などをあてがい、養生テープで固定する。
2. バッテリーのマイナス端子を取り外す。
3. バックドアから車両ルーフスポイラーおよびバックドアガーニッシュ CTR を取り外す。

アドバイス ：
・バッテリー、車両ルーフスポイラー、バックドアガーニッシュ CTR の取り外しの詳細はトヨタ自動車発行の修理書をご参照下さい。
・取り外した車両ボルトは再使用しますので、紛失しないようご注意下さい。

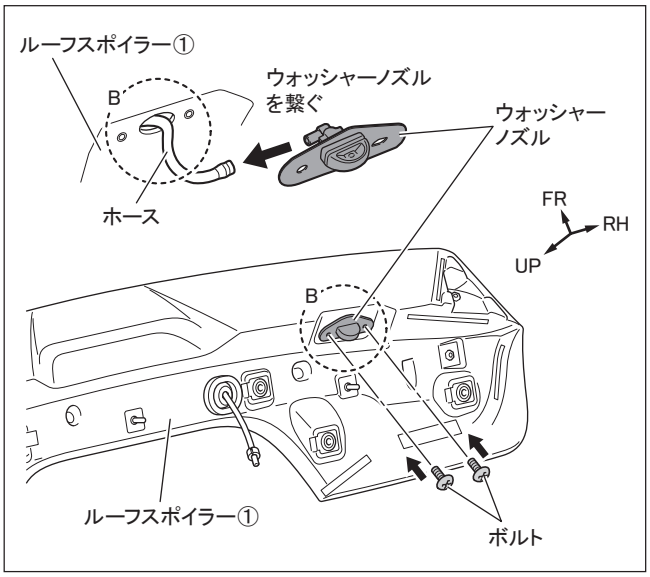


4. 車両ルーフスポイラーのウォッシャーノズルを固定しているボルトを外し、ホースからウォッシャーノズルを取り外す。
5. ホースをクッションが巻かれている側から引き出す。

アドバイス ：
・取り外した車両ボルト、ホース、ウォッシャーノズルは再使用しますので、紛失しないようご注意下さい。



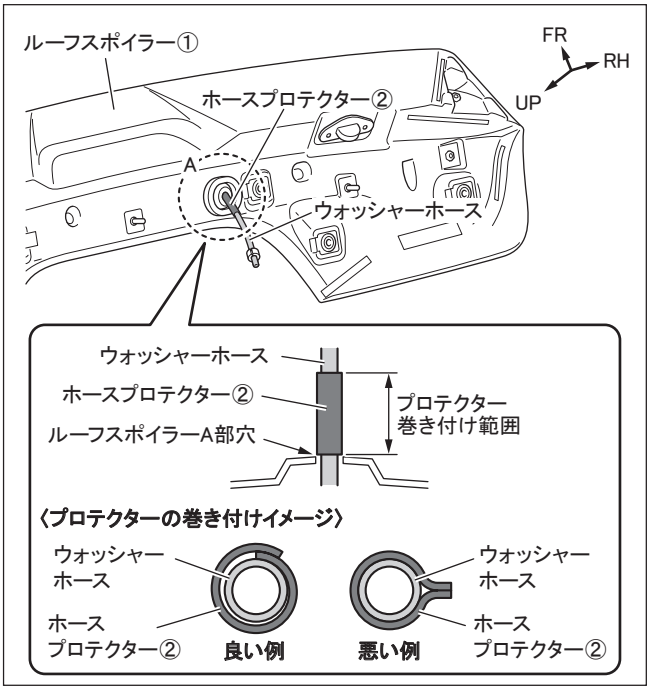
6. ルーフスポイラー①裏側の A 部穴からハリガネ等を通し、B 部穴から出す。
7. A 部穴から出ているハリガネ等の端部へ、車両ルーフスポイラーから取り外したホースのクッションが巻かれていない側をマスキングテープで固定する。
8. B 部穴から出ているハリガネ等を引き、ホースを引き出す。
   その際、ホースの反対側クッション部が穴の中に入らないようにしてください。
9. ハリガネ等を外す。



10. B 部穴から出ているホースとウォッシャーノズルを繋ぎ、ルーフスポイラー①にボルトで固定する。

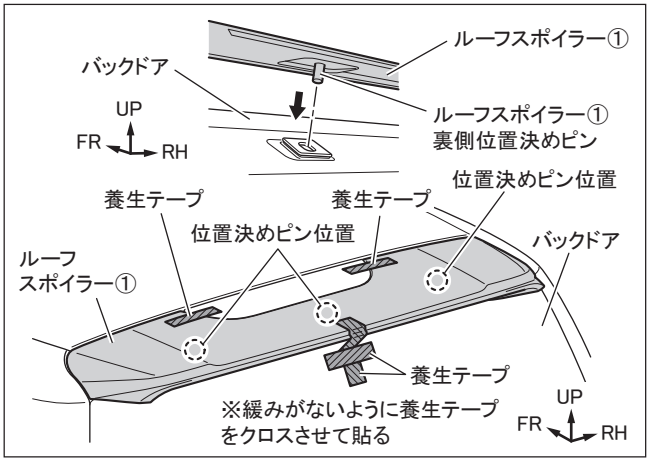
> ⚠ **注 意** :
> ・ボルトの締め付けトルクは3.8N・mで行って下さい。規定トルクを超えますと部品が破損する恐れがあります。

> アドバイス :
> ・固定する前にホースとウォッシャーノズル確実に繋がっていることを確認してください。



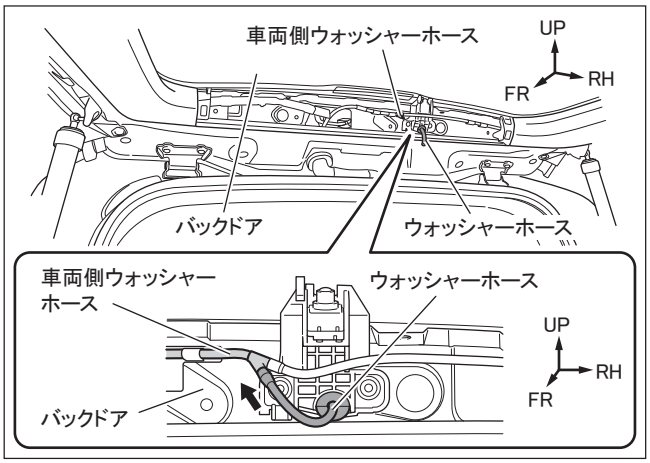
11. A 部穴側から出ているホースを軽く引き、ルーフスポイラー内にホースの余長が残らないようにする。
12. A 部穴の出口付近の位置から、ウォッシャーホース外周にホースプロテクター②を巻き付ける。

ロルーフスポイラーの取り付け



1. ルーフスポイラー①裏側の位置決めピン（3か所）を車両へ合わせて勘合させ、養生テープで仮固定する。

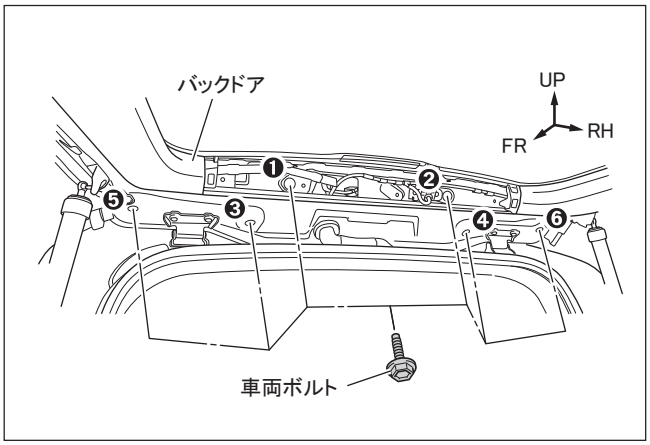
アドバイス ：
・ルーフスポイラー①裏側の位置決めピン部で車両部品に傷をつけたりしないようご注意下さい。
・ルーフスポイラー①が脱落しないよう、養生テープで緩みなく固定して下さい。



2. バックドアを開け、ルーフスポイラー①側のホースを車両側のウォッシャーホースと繋ぐ。

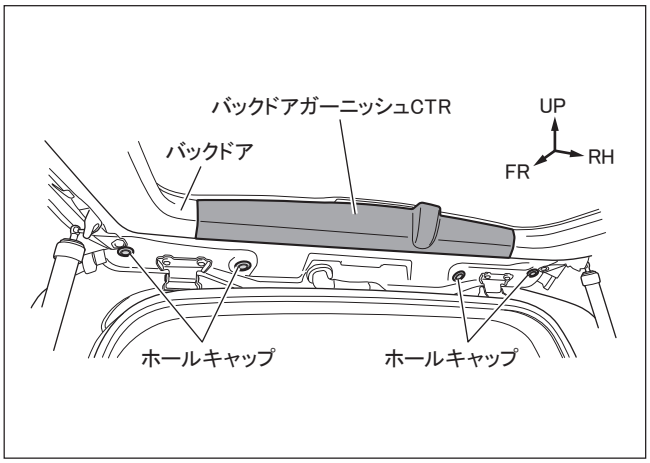
⚠ 注 意 ：
・無理にルーフスポイラー①側のホースを引っ張り出すと破損の恐れがありますので注意してください。

アドバイス ：
・ホースと車両側のウォッシャーホースが確実に繋がっていることを確認して下さい。



3. 図の❶～❻の順に、取り外した車両のボルトで仮固定する。
4. すべてのボルトを本締めする。（6箇所）

⚠ 注 意 ：
・ボルトの締め付けトルクは7.0N・m で行って下さい。規定トルクを超えますと部品が破損する恐れがあります。

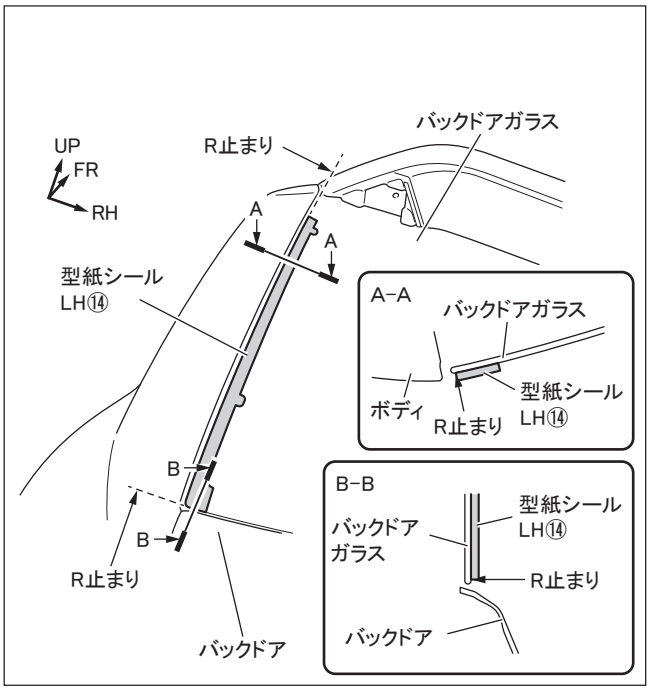


5. バックドアガーニッシュ CTR およびホールキャップを復元する。

アドバイス ：
・復元の詳細はトヨタ自動車発行の修理書をご参照下さい。

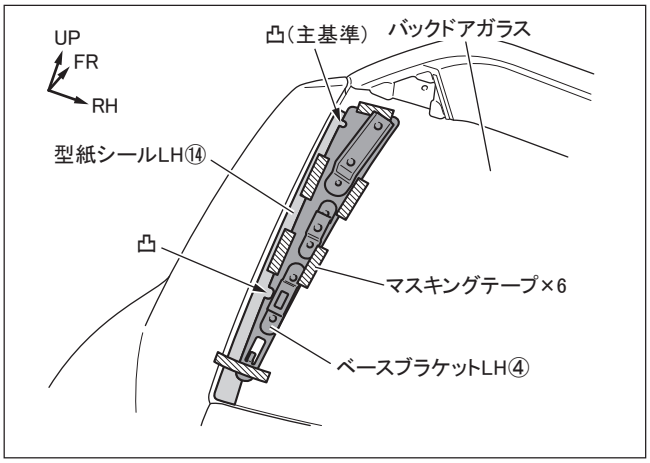
ロウィングレットの取り付け準備

※ウィングレットの取り付け要領は、主に LH 側を示しており、RH 側も同様に行なってください。



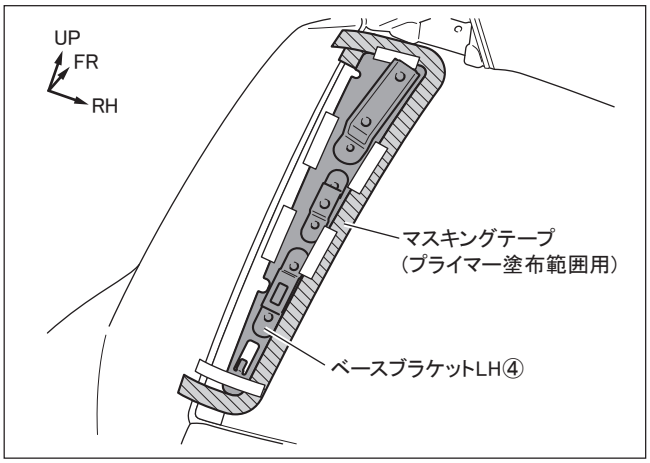
1. 図の要領で、型紙シール⑭の LH 部をバックドアガラス端末と、バックドア上部の R 止まりに合わせて貼り付ける。

アドバイス ：
・型紙シール⑭の LH 部は、下方向から位置合わせをして貼り付けて下さい。

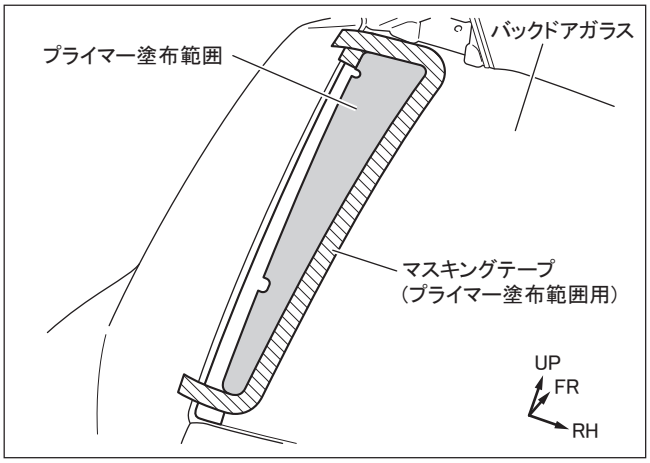


2. 型紙シール⑭の LH 部の凸（主基準）に合わせ、ベースブラケット LH ④をバックドアガラスに押し当て、マスキングテープで仮固定する。

アドバイス ：
・ベースブラケットLH④が固定されているかを確認して下さい。



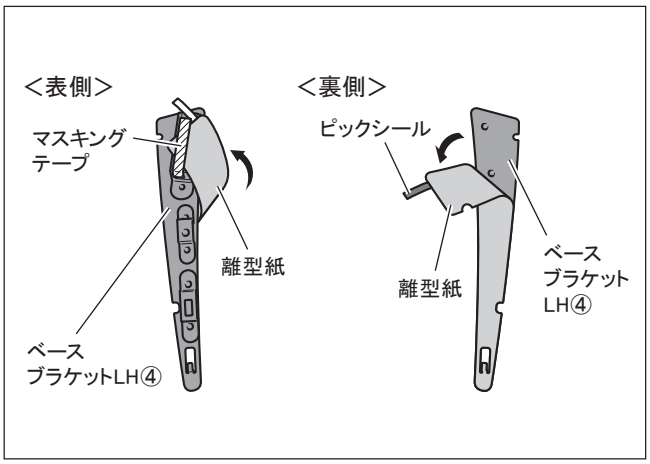
3. 仮固定したベースブラケット LH ④の周囲に合わせてマスキングテープ（プライマー塗布範囲用）を貼り付ける。



4. ベースブラケット LH ④を取り外す。
5. バックドアガラスのプライマー塗布範囲の汚れを取り除き、イソプロピルアルコール（IPA）をしみ込ませたきれいなウエスで一方向に拭いて脱脂した後、PAC プライマー⑮を塗布する。
6. マスキングテープ (プライマー塗布範囲用) を剥がす。

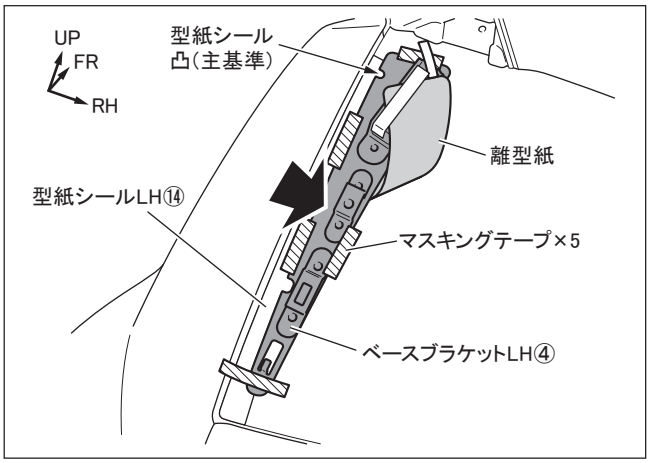
アドバイス ：
・プライマーは特に塗布面を黄変させるため、はみ出したプライマーは、ウエスで拭き取ってください。
・プライマー塗布後は、常温で10分以上放置し、乾燥させてください。

ロウィングレットの取り付け



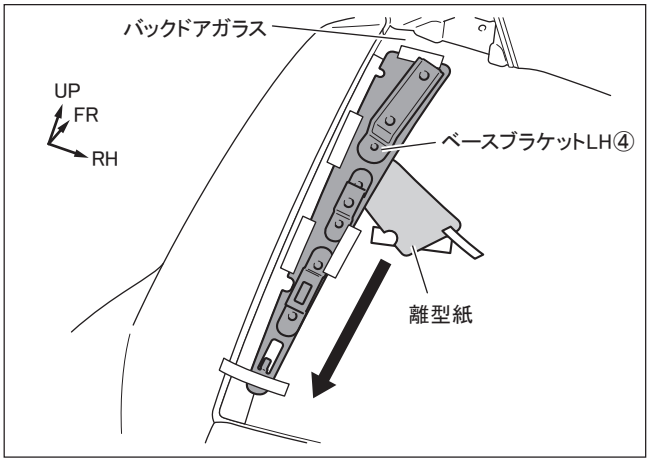
1. ベースブラケット LH ④裏側のピックシールを引いて、両面テープの離型紙の端末を約30mm 剥がし、表側に折り返してマスキングテープで仮固定する。

⚠ **注 意** ：
・プライマー開封前に必ず使用要領を読んでください。
・プライマーは塗装面を黄変させるため、マスキングするか、はみ出したプライマーはイソプロピルアルコール（IPA）で拭き取ってください。
・イソプロピルアルコール（IPA）を使用する際は火気に充分注意してください。
・プライマー塗布後24時間以内で乾燥時間を取ってください。
・塗布後24時間以上プライマー乾燥を行った場合は、プライマーを塗り直してください。

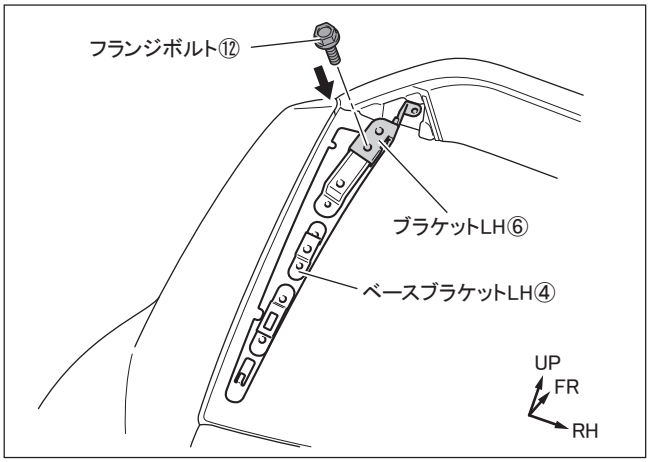


2. 型紙シール⑭の LH 部に合わせ、ベースブラケット LH ④の位置を確認し押し当て、マスキングテープ (5箇所) で仮固定する。

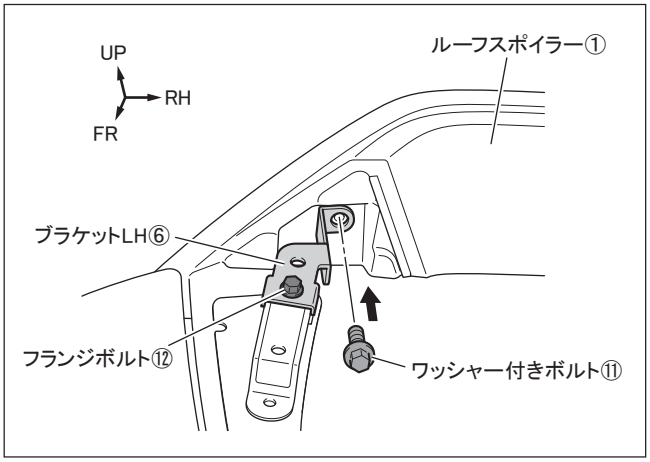
> ⚠ **注 意** :
> 外気温が 15℃未満の場合は両面テープの接着力が著しく低下します。
> 部品または貼り付け面を人肌程度まで加温してください。



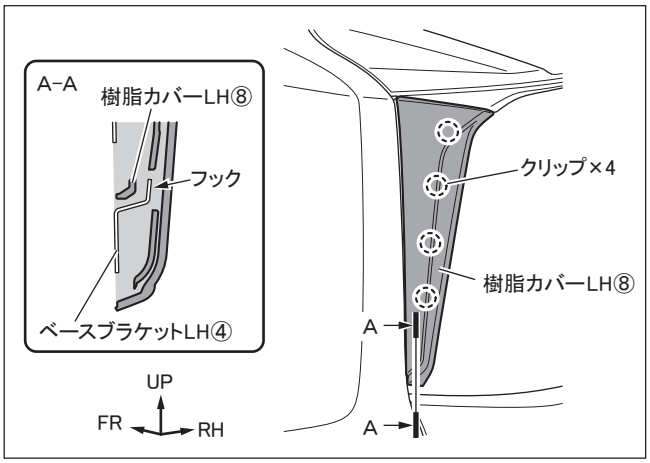
3. ベースブラケット LH ④をバックドアガラスへ押し当て、両面テープの離型紙を剥がす。
4. 49N(5kgf) 以上の力で圧着する。
5. マスキングテープ (5ケ所) と型紙シールの LH 部を剥がす。



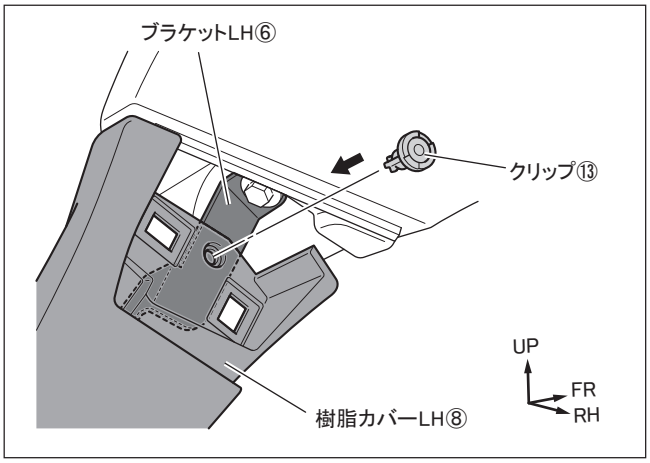
6. ブラケット LH ⑥をベースブラケット LH ④にフランジボルト⑫で仮固定する。



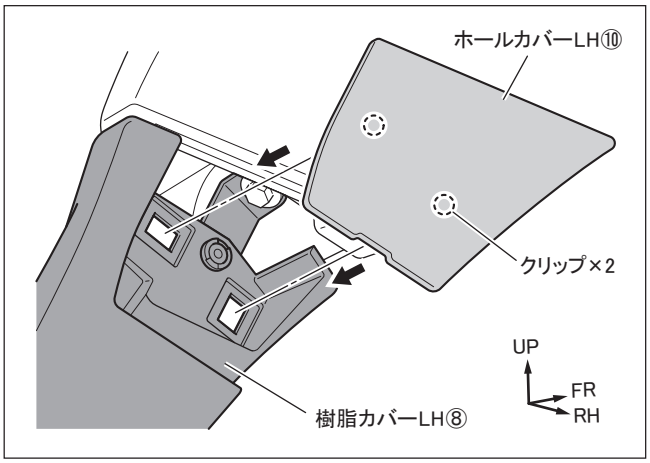
7. ルーフスポイラー①にブラケット LH ⑥をワッシャー付きボルト⑪で固定する。
   ワッシャー付きボルト⑪の締め付けトルクは 3.3N・m で行ってください。規定トルクを超えると部品が破損する恐れがあります。
8. フランジボルト⑫を増締めして固定する。
   フランジボルト⑫の締め付けトルクは7.0N・m で行ってください。規定トルクを超えると部品が破損する恐れがあります。



9. ベースブラケット LH ④の下端部のフックに、樹脂カバー LH ⑧を引っかける。
10. クリップ（4ケ所 ）が嵌るように押し込み、ベースブラケット LH ④に樹脂カバー LH ⑧を取り付ける。



11. 樹脂カバー LH ⑧とブラケット LH ⑥をクリップ⑬で固定する。



12. クリップ（2ケ所 ）が嵌るように、ホールカバー LH ⑩を樹脂カバー LH ⑧に取り付ける。

13. バッテリーのマイナス端子を復元する。
14. ロックストライカーにあてがった布を取り外す。
15. すべての養生テープを剥がす。

■取り付け完了後の点検・注意事項

1. 商品及び車両に傷が付いていないことを確認してください。
2. 商品全周に渡り、浮き・剥がれ等無いことを確認してください。
3. 商品と車両の干渉が無いことを確認してください。
4. 作業でバッテリーのマイナス端子を外した場合は、作業終了後にシステムの設定・確認を行なってください。
5. 本取り付けに伴い分解・脱着した場合により、再設定・調整が必要となる場合があります。
   該当車両の修理書（トヨタ自動車㈱発行）に従い、各部の点検・調整・設定を行なってください。
6. 接着力を促進するため、取り付け後20分以内は洗車しないでください。

■未塗装品の取り扱いについて

下記は未塗装品（MSD42-60008-NP）の塗装前、塗装後の作業を記載しています。
下記要領に従い作業を行なってください。

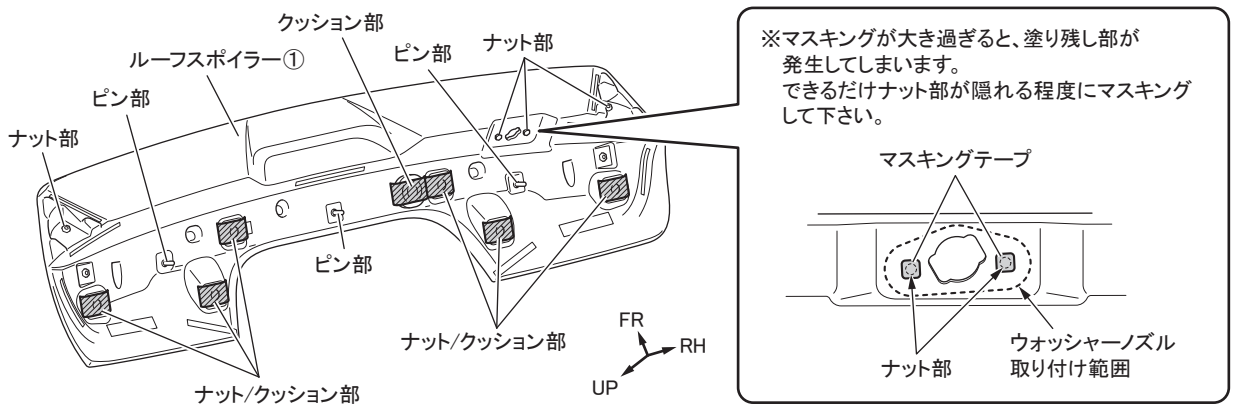
本商品の素材は >ABS< です。

※本取り付け、取り扱い要領書は、主に LH 側を示しており、RH 側も同様に作業を行ってください。

□ルーフスポイラーの塗装

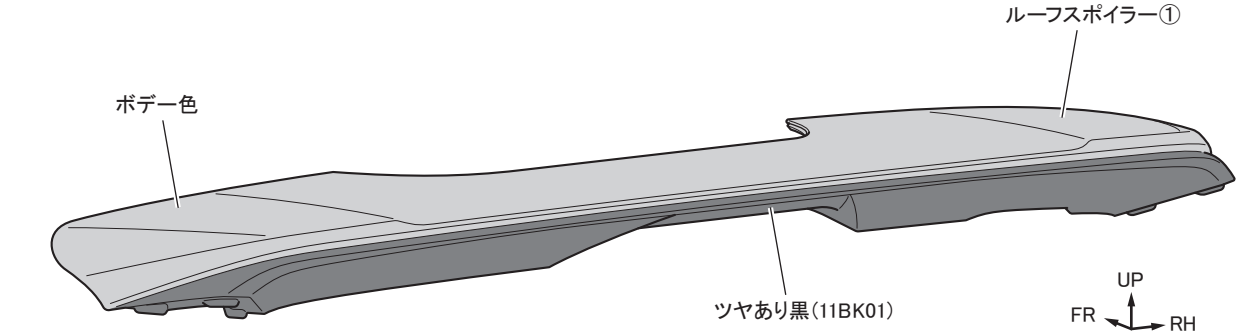
1. 塗装面の汚れ、ゴミ、ほこりをウエスで取り除き、必ず脱脂作業を行う。
2. 製品面に貼り付けてあるピン・ナット・クッション貼り付け部を全面マスキングする。
3. プライマーサーフェサー塗装を行う。
4. 上塗り塗装（ボデー色）を行う。
5. 乾燥を行う。

アドバイス ：
・ペーパーなどで素材を研磨する場合は、必ずペーパーの番手を #600以上で完了してください。



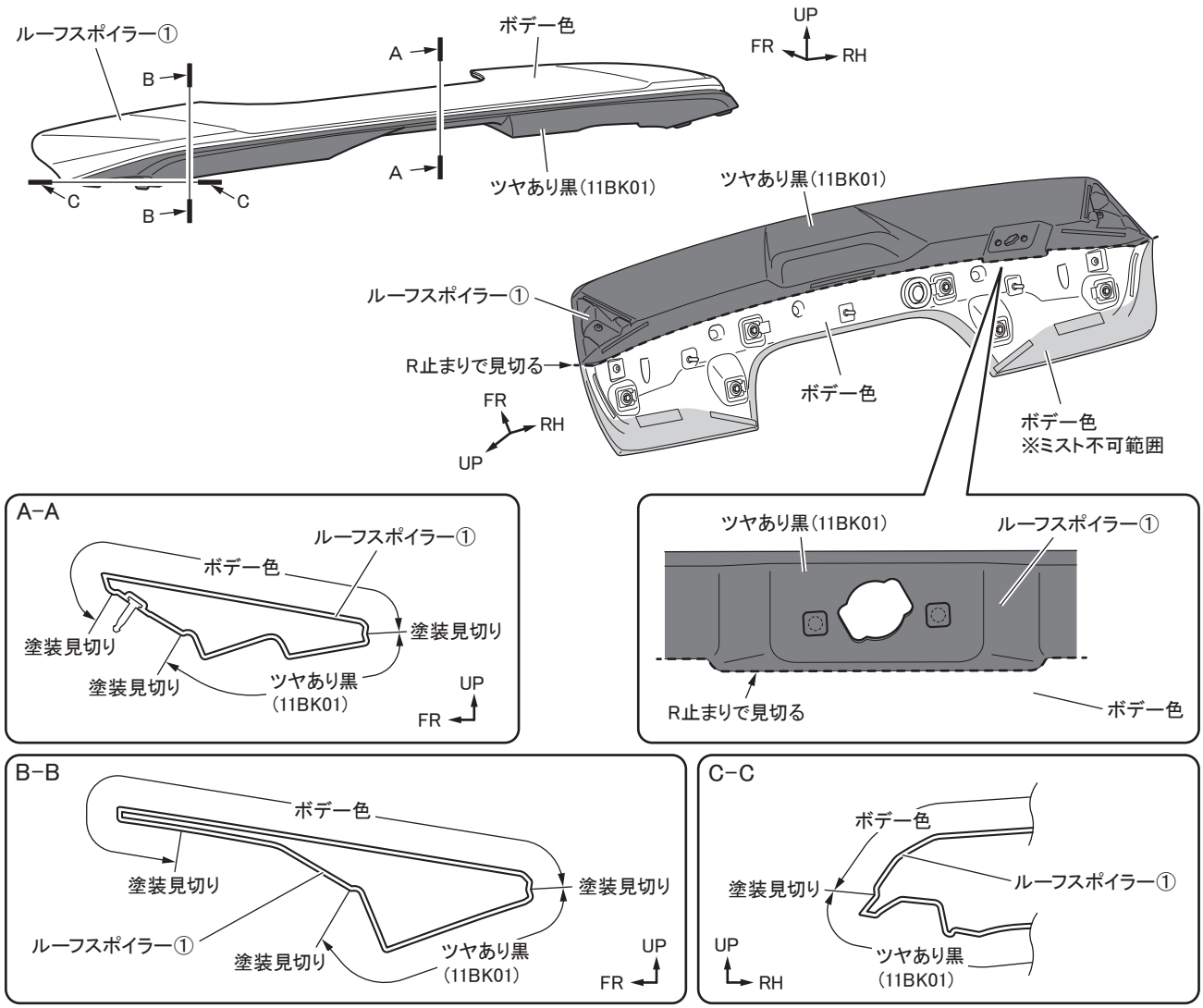
⚠ 注 意 ：
・乾燥温度を60℃以上に上げますと商品に変形や割れが発生しますので、乾燥温度には充分に注意してください。

【塗装範囲】



□ツートン塗装

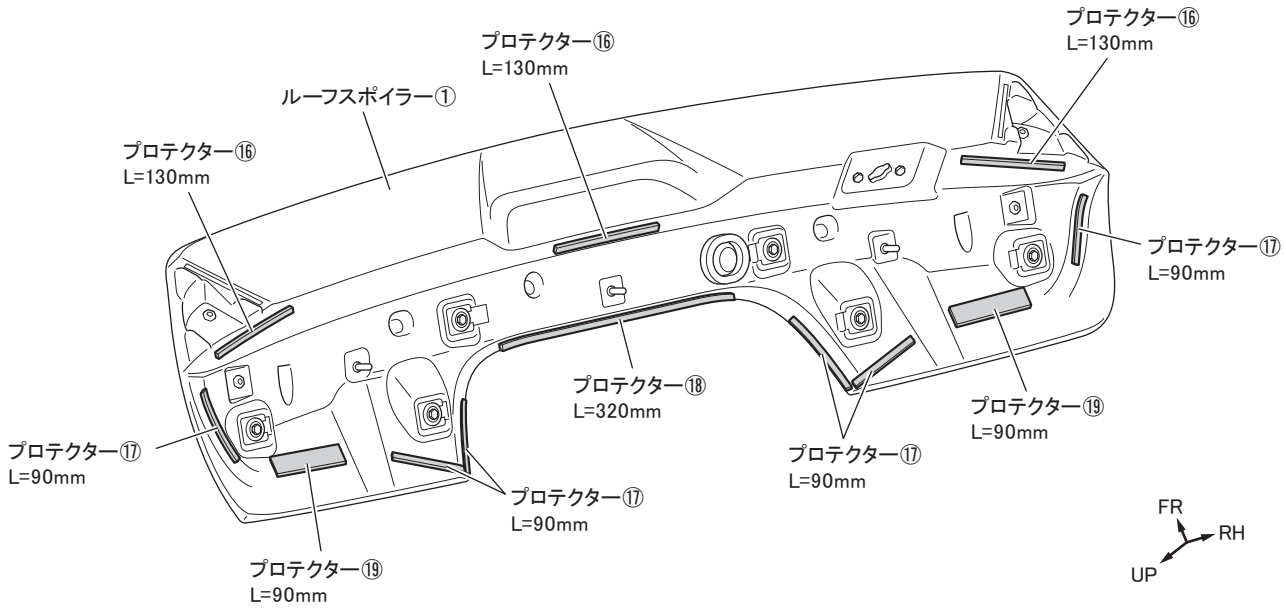
1. 下図の塗装見切り線に沿ってボデー色側をマスキングする。



2. 塗装面の汚れ、ゴミ、ほこりをウエスで取り除き、必ず脱脂作業を行う。
3. プライマーサーフェサー塗装を行う。
4. 上塗り塗装（11BK01）を行う。
5. 乾燥を行う。

⚠ **注 意**：乾燥温度を60℃以上に上げますと、製品に変形や割れが発生しますので乾燥温度には十分注意してください。

【プロテクターの取り付け】



株式会社トヨタカスタマイジング＆ディベロップメント
MODELLISTA 商品問い合わせ窓口
TEL : 050-3161-1000
https://www.modellista.co.jp/

脱脂作業要領書

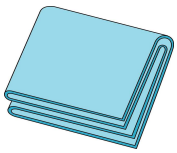
本書ではエアロパーツ等を取付ける際の脱脂作業について記載してあります。
取付け前に必ずお読みいただき、正しい要領で脱脂作業を行ってください。

エアロパーツの取付け・脱脂作業の要領を
解説動画でご覧いただけます。
右のＱＲコードよりアクセスのうえ
ご確認ください。

①エアロ取付準備・脱脂　　（約 3 分）
②エアロ位置決め・取付・圧着（約 6 分）
③デカール準備・水貼り・圧着（約 4 分）
合計　約 13 分

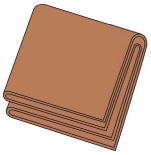
■　取付け時の脱脂作業に必要な工具等


水拭き用バケツ


合成セーム皮


脱脂剤用
スプレーボトル


ゴム手袋


DRY 用
ウエス


WET 用
ウエス


イソプロピルアルコール(IPA)
※純度 100%推奨

■　脱脂作業上の注意事項

1．ホコリ・チリ等のない換気の良い作業場で作業を行ってください
2．隣接する場所で、ワックスがけやポリッシュ作業等は行わないで下さい。
　※飛散した油脂やワックス等の成分が車両に付着してしまいます。
3．脱脂剤を取り扱いの際は、眼・皮膚に触れないように保護具を着用のこと。
4．脱脂剤を取り扱いの際は、作業場に火気・熱源のないことを確認すること。
5．脱脂剤を取り扱いの際は、蒸気を吸い込まないように作業場内の換気に注意のこと。

⚠注　意・・・・注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがあることを記載しています。

アドバイス・・スピーディーに確実に作業していただく上で、知っておいていただきたいことを記載しています。

★脱脂作業概要《重要》

◎【脱脂作業】とは、取付け面の表面に付着した油脂分を取り除き、両面テープの性能を十分に発揮させるための重要な下地処理です。
下地処理が不十分だと、両面テープの性能が著しく低下して、浮き・ハガレ脱落などの不具合を起こす場合があります。
大変に重要な作業となりますので確実に行ってください。

◎ 脱脂剤は、取付け面に付着した油脂分を浮かび上がらせて、ウエスへの吸着を促す溶剤です。
脱脂剤で取付け面を拭いただけでは、十分な脱脂は行えません。
≪脱脂作業前に≫以降の作業要領を十分に理解したうえで作業を行ってください。

■　脱脂作業前に

- 取付け面のホコリ・チリ等の汚れを十分な流水で洗い流す。
  汚れのひどい場合は、洗浄剤を使用して汚れを落とし、洗浄剤を十分に洗い流すこと。
- 取付け面にコーティング等を施工されている場合は、除去剤・コンパウンド等を使用し除去してください。除去後、十分に水洗いを行ってください。
  ※コーティング剤が残っていると両面テープはハガレます。
- 水洗い後は、取付け面に付いた水滴を完全にふき取ってください。

■　脱脂作業要領

- 取付け面の洗浄を行い、固く絞った合成セーム革等を使用し拭き上げて水滴をしっかりと取り除く。

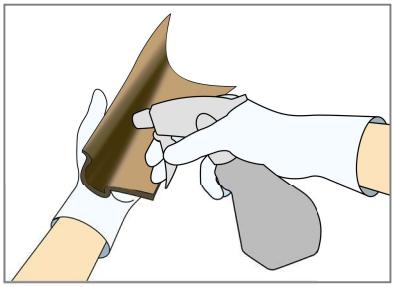

水拭き用バケツ


合成セーム皮

- スプレーボトルに入れた脱脂剤をWET用ウエスに吹きつける。


WET 用ウエス

※　ウエスは清潔なウエスを使用して、拭き上げ時にクズなどが出ない素材を選んでください。

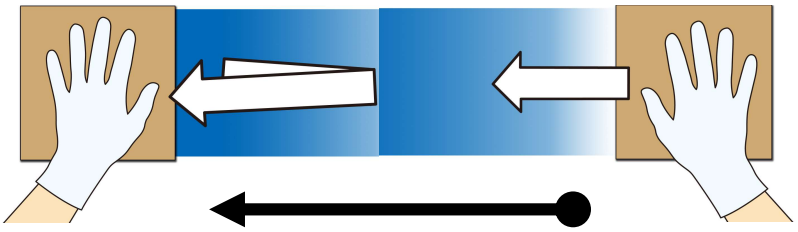


WET 用ウエスにスプレーボトルを５cm ほど離して、初回は１０回程度スプレーをして、ウエスが湿っている状態で取付け面を拭いてください。
以降は WET ウエス表面が乾く前に追加で５回程度スプレーし、常に湿った状態を保つようにしてください。

● 取付け面の脱脂作業を行う

①【WET 拭き】
脱脂剤を含ませたウエスで
１往復で拭き油脂分を浮き上がらせる

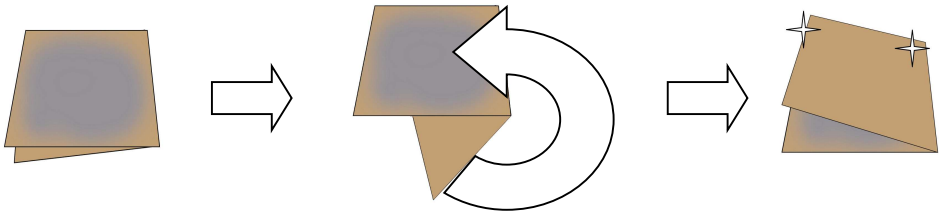
②【DRY 拭き】
DRY 拭きウエスで一方向に
拭き上げ油脂分を取り除く



１ブロック６０ｃｍ程度として両手に WET と DRY のウエスを交互に持ち
WET⇒DRY の順に拭き上げて脱脂する。
範囲が広い場合は１ブロック毎を数回に分けて行い、仕上げに面を通して拭き上げる

WET 拭きのあと脱脂剤が乾かないうちに DRY 拭きで一気に拭き上げを
行ってください。
（上図のように両手にウエスを持ち作業を行うと素早く作業できます。）

DRY 拭き作業後に拭き上げた面に、拭き跡が残っている場合は油脂分が
残っていますので、再度 WET・ DRY 拭きを行ってください。



WET／DRY のウエス共に３～５ブロック毎にウエス表面を折り返し
ウエスの拭き取り面が常に清潔な状態で作業を行ってください。

汚れたままのウエスを使い続けると、ウエスに拭き取った油脂分が取付け面に
再び付着して、エアロパーツの浮き・ハガレの原因となります。

脱脂作業がしっかり行われている取付け面は、DRY 拭きを行った際に
ウエスへの抵抗が増して、拭き上げが重くなります。
作業前と作業後のウエスの抵抗感を目安に、脱脂を行ってください。

脱脂後の取付け面には、指などを触れないように作業を行ってください。

脱脂後は長時間放置せず、すぐに作業を行ってください。

チリ・ホコリ等が付着しないように、十分注意してください。
パーツの取り付け方法は、各パーツの取扱説明書ならびに取付要領書に
したがって行ってください。